

令和7年度 事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

我が国では、依然として少子化と人口減少が進む一方、平均寿命の延伸により高齢化率は過去最高を更新し続けています。社会全体が「人生百年時代」へと本格的に移行する中、高齢者が心身ともに健康で、地域の一員として生涯にわたり活躍できる環境づくりが重要な課題となっています。こうした状況のもと、高齢者の就業機会を創出し、社会参加を支えるシルバー人材センターに寄せられる期待は一段と高まっています。

当センターの令和7年度の事業実績をみますと、請負・委任事業の契約金額は1億1,201万1,455円となり、前年度に比べ約871万円の減となりました。シルバー派遣事業につきましても3,085万6,245円と、前年度比約69万円の減となっています。これらの要因として、入会希望者の高齢化により会員全体の平均年齢が上昇し、就業先の確保が難しくなっていることが挙げられます。

会員数については、長年活躍されてきた会員の勇退や企業の定年延長に伴う入会希望者の減少といった影響はあるものの、令和7年度末の会員数は263人（前年度比2人増）の、微増となりました。しかしながら、安定的な会員確保に向けては依然として課題が残っており、今後も会員拡大と多様な就業先の開拓に一層取り組む必要があります。

こうした状況を踏まえ、センターとして求められる期待に応えていくため、フリーランス法をはじめとした各種制度改正に的確に対応しつつ、高齢者福祉の増進と地域社会の活性化に貢献できるよう、積極的な事業展開に努めてまいります。

以下、事業計画に基づき実施いたしました主な事業内容について報告します。

I 基本方針

- 1 組織体制の充実強化
- 2 普及啓発事業の推進、就業機会の拡大
- 3 福祉・家事援助事業の推進

- 4 安全・適正就業対策と健康管理の推進
- 5 シルバーワークプラザ指定管理事業推進及び施設活用促進
- 6 高齢者等声かけごみ収集支援事業の推進
- 7 調査研究活動
- 8 社会奉仕活動
- 9 シルバー派遣事業の推進

II 事業実施計画

1 組織体制の充実強化

- (1) 理事会、各委員会、地域班との相互の連携を図り、センター全体として組織強化を図った。
- (2) 新入会員拡大の推進に関する報奨制度による新入会員の紹介は7人となり、新規会員の加入促進を図った。
- (3) 入会説明会を毎月第二金曜日及び第四木曜日を中心に開催し、センターの目的・理念、事業の仕組み、安全就業の心得などについて年間16回実施し、参加者数は51人でした。
- (4) 全シ協・東海・県シ連・東部ブロックが主催する安全・適正就業推進研修会などの各種研修会や、派遣元責任者研修会などシルバー派遣事業に係る研修会等に積極的に参加した。

2 普及啓発事業の推進、就業機会の拡大

- (1) 普及啓発事業の一環として広報紙「仲間」を6月号、9月号の年間2回発行するとともに、市内全戸配布の「シルバーごてんば」は年明け1月に発行した。また、ホームページに「仲間」を掲載するとともに、地域社会奉仕活動等を必要に応じて更新した。
- (2) 就業開拓のために市内企業等（兼賛助会員依頼）を訪問し、高年齢者に適した安全な就業先が確保できるよう依頼した。
- (3) シルバーワークプラザ及び市民交流センターを会員の就業の場として有効活用を図った。
- (4) 独自事業の再開に向け、講師との調整に努め令和8年度より学習教室「ラボ・寺子屋」として始動できる見通しとなった。

3 福祉・家事援助事業の推進

- (1) 高齢者のひとり暮らし世帯等への支援充実を図るため、軽度生活援助事業及び高齢者等声かけごみ収集支援事業に携わる会員を対象に、合同研修会を実施した。

4 安全・適正就業対策と健康管理の推進

- (1) 安全対策委員会による就業時の安全対策強化・指導及びパトロールを実施し事故防止に努めた。
- (2) 職群別安全教育の実施と事故防止対策を推進するため、現場では日頃から作業班長をリーダーとして、互いに声を掛け合い安全確認を励行した。
- (3) 安全保護具の使用、機械・器具の点検整備など自らの責任で確実に実施するよう呼びかけ、安全就業意識が更に高まるよう啓発に努めた。

5 シルバーワークプラザ指定管理事業推進及び施設活用促進

ワークプラザは、シルバー人材センターが御殿場市から指定管理者の指定を受け、年間を通してその管理と活用を図っているほか、「声かけごみ収集支援事業」のステーション、障子や襖の張替え作業など就業の場、会員の研修の場としても幅広い活用を図った。

また、市民の方にシルバー人材センターをより身近な存在として知っていただくことを目的として実施している「シルバーまつり」を昨年に引き続き令和8年3月8日に開催した。

《令和 7 年度シルバーワークプラザ利用件数及び人数》

月	作業室 1 (件) (人)		作業室 2 (件) (人)		技能訓練講習室 (件) (人)		計 (件) (人)	
4	2	4	24	56	10	66	36	126
5	3	7	26	62	9	52	38	121
6	4	8	24	57	6	37	34	102
7	4	8	24	55	5	25	33	88
8	6	12	25	58	10	51	41	121
9	7	18	25	61	6	21	38	100
10	4	8	25	58	16	68	45	134
11	5	10	21	48	6	23	32	81
12	8	16	25	59	4	15	37	90
1	2	4	21	48	3	19	26	71
2	3	24	21	51	6	25	30	100
3	6	843	24	113	12	882	42	1,838
合計	54	962	285	726	93	1,284	432	2,972

6 高齢者等声かけごみ収集支援事業の推進

市からの受託事業として、高齢者世帯や障がい者世帯などの安否確認を行いながら対象の世帯を「声かけ巡回」し、ごみがある場合には収集支援した。

特に新規に対象となった世帯には、単にごみ収集サービスだけと間違われやすい事業の趣旨を理解してもらい、「安否確認」することや「ことばを交し合う」ことの大切さを伝えて実施した。

7 調査研究活動

センターのデジタル化等の運営に係る課題やインボイス制度やフリーランス新法の施行に伴い新たに求められる労働契約への対応等について、公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会（県シ連）や近隣シルバー人材センターとも連携、情報交換を行うなどセンター運営に係る必要な調査、研究活動を継続して進めた。

8 社会奉仕活動

地域への日頃の感謝の気持ちを表わすため、シルバー会員73人が9月1日に市民交流センター「ふじざくら」、「あけぼの」及び「のぞみ作業所」の各施設の草取りや植木剪定、清掃作業などの奉仕活動を実施した。

この社会活動は、大勢の市民にシルバー人材センターを知っていただく機会となるとともに、会員相互の交流も深められる場として実施している。

9 シルバー派遣事業の推進

請負・委任業務では困難な就業先での指揮命令を受ける業務について、シルバー派遣事業として、県シ連と連携して13業所、19業務に会員38人を派遣した。

事業活動の概要

1. 会員の状況

(1) 会員の登録状況

令和7年3月31日 現在登録者数			令和7年度						令和8年3月31日 現在登録者数		
			入会者数			退会者数					
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
185	76	261	27	13	40	25	13	38	187	76	263